



令和5年度 ふくおか元気向上チャレンジ

(在宅高齢者の要介護状態改善事業)

福岡市福祉局高齢社会部介護保険課

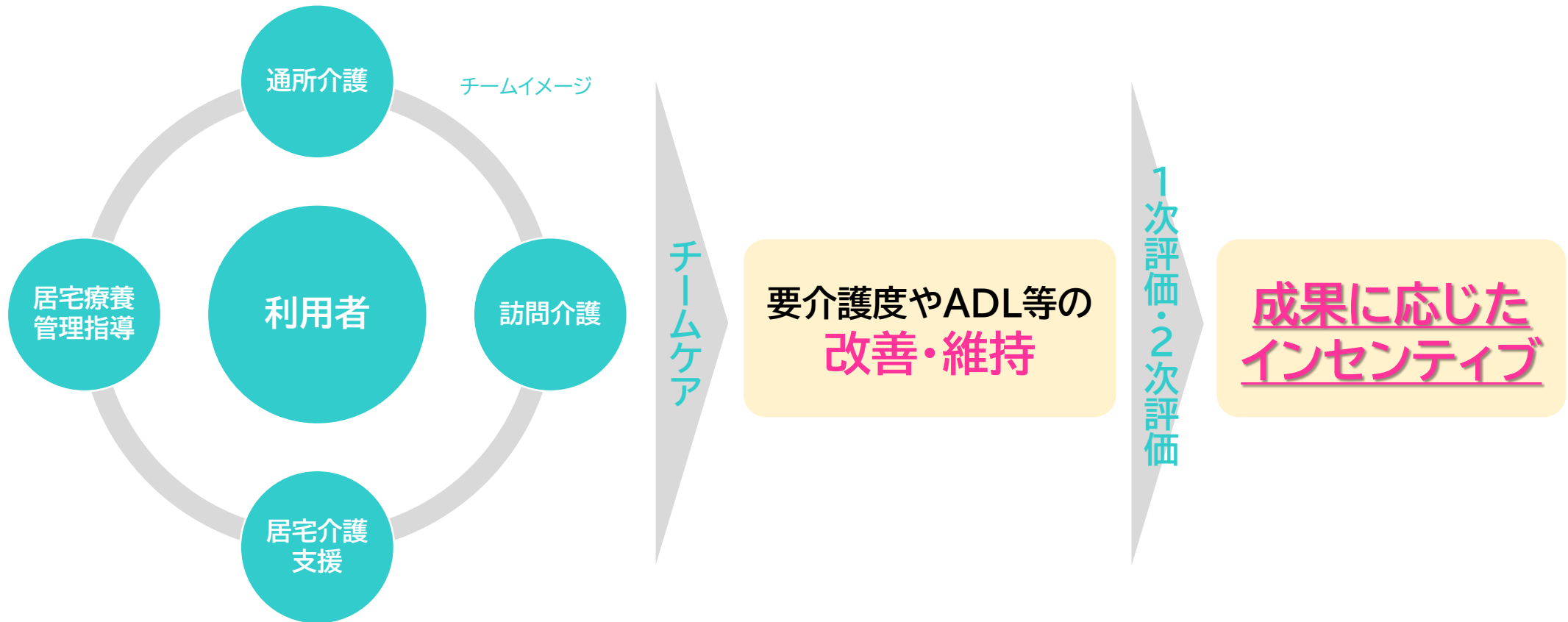
1 ふくおか元気向上チャレンジのご案内

(在宅高齢者の要介護状態改善事業)



ふくおか元気向上チャレンジ(在宅高齢者の要介護状態改善事業)について

- 福岡市では、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立した日常生活を送り、自分らしく生きていけるよう「ふくおか元気向上チャレンジ(在宅高齢者の要介護状態改善事業)」に取り組んでいます。
- この事業では、利用者の「**したい・やりたい**」(**目標**)を実現するための要介護度やADL等の改善・維持に向けた**チーム(利用者及び介護事業所)の取組みを評価**し、その取組み結果に応じて、認証や表彰などの**インセンティブ**をお渡しすることで、更なる重度化防止に対する意識・意欲の向上や介護サービスの質の向上に繋げていくものです。



● 利用者

- ✓ 要介護度やADL等の改善・維持に向けた意欲のある方
- ✓ 在宅系サービスを利用している福岡市の介護保険被保険者(在宅系サービスの詳細は、下表をご確認ください。)
- ✓ 参加申請時点において要介護1から要介護5までの認定を受けている方
- ✓ その他、次のいずれにも該当しない方

※ 直近の要介護認定結果と比較して、すでに参加申請時点において心身の状態に著しく改善がある方

※ 給付制限等の対象になっている方

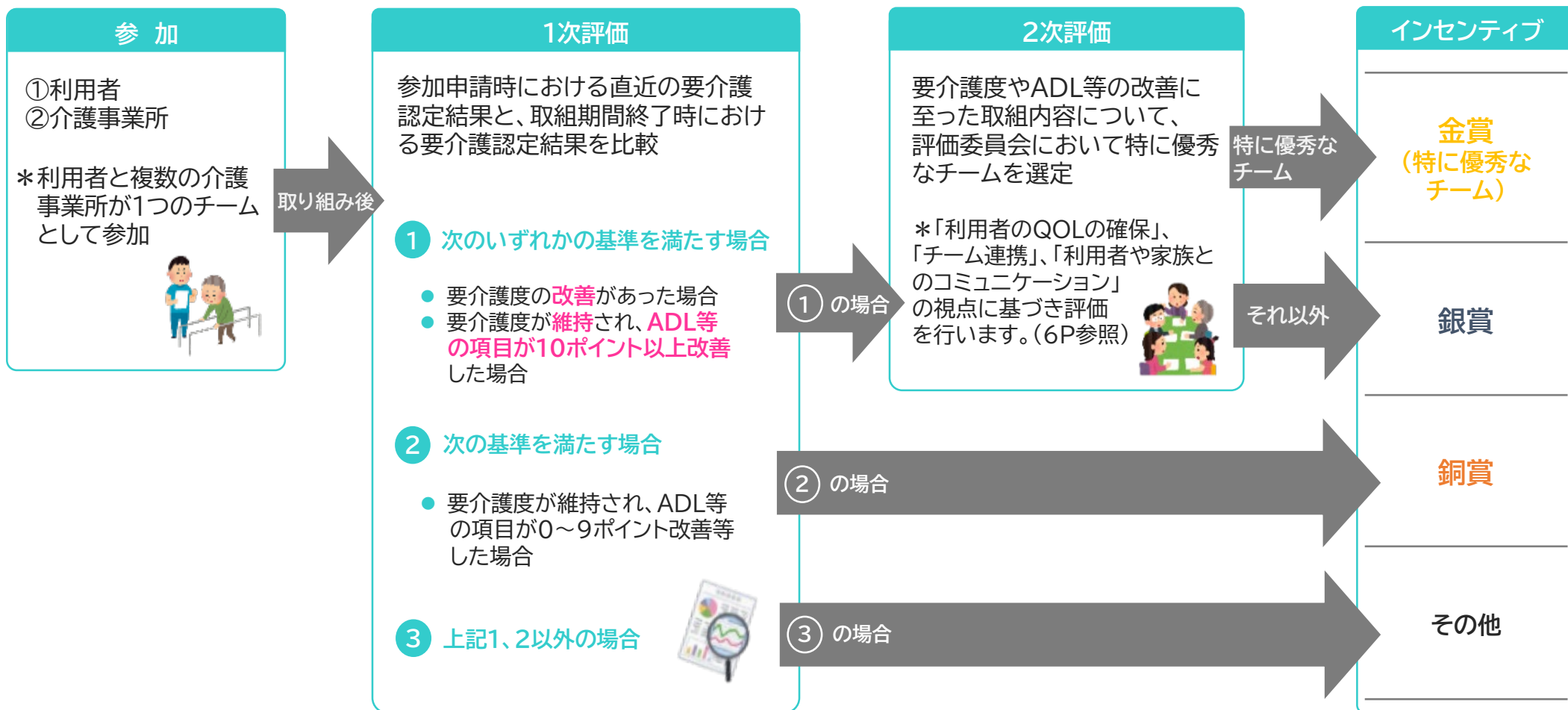
● 介護事業所

- ✓ 在宅系サービスを提供する福岡市内に所在する介護保険指定事業所(在宅系サービスの詳細は、下表をご確認ください。)

※ 令和4年4月1日以降に、介護保険法に基づく勧告以上の行政指導または行政処分を受けている介護事業所は、参加できません。

種 類		サービス種別
在宅系サービス	自宅で受けるサービス	訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ、訪問入浴介護、夜間対応型訪問介護、居宅療養管理指導、福祉用具貸与、定期巡回・随時対応型訪問介護看護
	施設に通って受けるサービス	通所介護、通所リハビリ、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護
	通い、訪問、泊りの組み合わせ	小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護
	短期宿泊	短期入所生活介護、短期入所療養介護
	その他	居宅介護支援

- 以下の手順で評価を行います。インセンティブの詳細な内容は、7Pを参照ください。



※ADL等の評価指標について
 認定調査票におけるADLやIADLの調査35項目を用いる。(4～5P参照)

※ADL等の評価は、直近の要介護認定結果において、本市の認定調査を受けている方に限る。

●「能力」に関する調査項目

	調査項目	選択肢
1	寝返り	1.つかまらないでできる 2.何かにつかまればできる 3.できない
2	起き上がり	1.つかまらないでできる 2.何かにつかまればできる 3.できない
3	座位保持	1.できる 2.自分の手で支えればできる 3.支えてもらえればできる 4.できない
4	両足での立位保持	1.支えなしでできる 2.何か支えがあればできる 3.できない
5	歩行	1.つかまらないでできる 2.何かにつかまればできる 3.できない
6	立ち上がり	1.つかまらないでできる 2.何かにつかまればできる 3.できない
7	片足での立位	1.支えなしでできる 2.何か支えがあればできる 3.できない
8	視力	1.普通(日常生活に支障がない) 2.約1m離れた視力確認表の図が見える 3.目の前に置いた視力確認表の図が見える 4.ほとんど見えない 5.見えているのか判断不能
9	聴力	1.普通 2.普通の声がやっと聞き取れる 3.かなり大きな声なら何とか聞き取れる 4.ほとんど聞こえない 5.聞こえているのか判断不能
10	えん下	1.できる 2.見守り等 3.できない
11	意思の伝達	1.調査対象者が意思を他者に伝達できる 2.ときどき伝達できる 3.ほとんど伝達できない 4.できない
12	毎日の日課を理解	1.できる 2.できない
13	生年月日や年齢を言う	1.できる 2.できない
14	短期記憶	1.できる 2.できない
15	自分の名前を言う	1.できる 2.できない
16	今の季節を理解する	1.できる 2.できない
17	場所の理解	1.できる 2.できない
18	日常の意思決定	1.できる(特別な場合でもできる) 2.特別な場合を除いてできる 3.日常的に困難 4.できない

● 「介助」に関する調査項目

	調査項目	選択肢
19	洗身	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助 (※4.行っていない)
20	つめ切り	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
21	移乗	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
22	移動	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
23	食事摂取	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
24	排尿	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
25	排便	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
26	口腔清潔	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
27	洗顔	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
28	整髪	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
29	上衣の着脱	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
30	ズボン等の着脱	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
31	薬の内服	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
32	金銭の管理	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
33	買い物	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
34	簡単な調理	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助

● 上記以外の変化を測る項目

	調査項目	選択肢
35	外出頻度	1.週1回以上 2.月1回以上 3.月1回未満

※調査項目の選択肢の番号について、直近の要介護認定結果の合計から取組終了時の合計を差し引き、差がプラスであれば改善、ゼロであれば維持、マイナスであれば悪化とする。ただし、「19:洗身」の「行っていない」に該当する者は、「19:洗身」を評価指標から除外する。(その他の34項目の選択肢番号を合計し、評価。)

● 以下の視点を踏まえ、要介護度やADL等の改善に至った取組内容について、評価委員会において特に優秀なチーム(金賞)を選定します。

※取組内容については、2次評価対象チームから提出いただく**報告書**等を基に評価させていただきます。なお、報告書の様式は、市ホームページ(「ふくおか元気向上チャレンジ」で検索)よりご確認ください。

利用者のQOLの確保

サービス提供に至るまでのプロセス
(目標「利用者のしたい・やりたい」の設定)

- ✓ 利用者の状況把握は適切か
- ✓ 真に利用者が望む目標を引き出しているか(解決すべき課題)

成果に至るまでのプロセス
(アプローチの過程)

- ✓ 利用者の意欲は持続したか(利用者が継続して取り組んでいるか)
- ✓ 生活の継続に向けた工夫があるか
- ✓ 利用者の状態に応じた目標設定の見直しを行い、必要なサービスが提供できているか

チーム連携

サービス提供に至るまでのプロセス
(目標「利用者のしたい・やりたい」の設定)

- ✓ 目標に向けた専門的な視点での検討、多職種協働は適切か(担当者会議等)

成果に至るまでのプロセス
(アプローチの過程)

- ✓ 状態の変化など、チーム間の情報共有は適切か
- ✓ チーム間で目標を常に意識したか

利用者やその家族とのコミュニケーション

サービス提供に至るまでのプロセス
(目標「利用者のしたい・やりたい」の設定)

- ✓ 利用者やその家族とのコミュニケーションは適切か

成果に至るまでのプロセス
(アプローチの過程)

- ✓ 利用者やその家族とのコミュニケーションは適切か
- ✓ 事業参加によって利用者やその家族に変化はあったか

成果・振り返り

- ✓ 成果(好結果)として考えられることは何か(チーム間の連携等)
- ✓ 困難だったことはあったか、その改善策は適切か
- ✓ 目標は達成できたか、または、取組みの満足度は(利用者のQOLの変化)

- 参加した利用者には**記念品**を、成果指標(要介護度やADL等の改善・維持)の基準を満たした**優秀な介護事業所**には**認証**を付与します。
- 特に優秀なチームは、**表彰**を行うとともに、**介護事業所**へ**報奨金**を交付します。
- そのうち、**優良な取組み**は**事例集**としてまとめ、広く介護事業所等へ広報します。

	介護事業所	利用者
金賞 (特に優秀なチーム)	式典における表彰(表彰状) 認証(金) 事例集への掲載 市ホームページ掲載 報奨金(10万円/チーム)	式典における表彰(表彰状) 記念品
銀賞	表彰状 認証(銀) 市ホームページ掲載	表彰状 記念品
銅賞	認証(銅) 市ホームページ掲載	表彰状 記念品
その他	—	参加の証 記念品

※ 事例集は、参加チームの皆様へ取材を行い、記事にさせて頂く予定です。記事の内容は、チームの取組みや事業所情報などを掲載する予定です。

- 提出書類

<介護事業所記入用>

・「ふくおか元気向上チャレンジ」参加申請書(様式第1号)

<利用者記入用>

・「ふくおか元気向上チャレンジ」への参加及び個人情報の利用に関する同意書(様式第2号)

- 提出期間

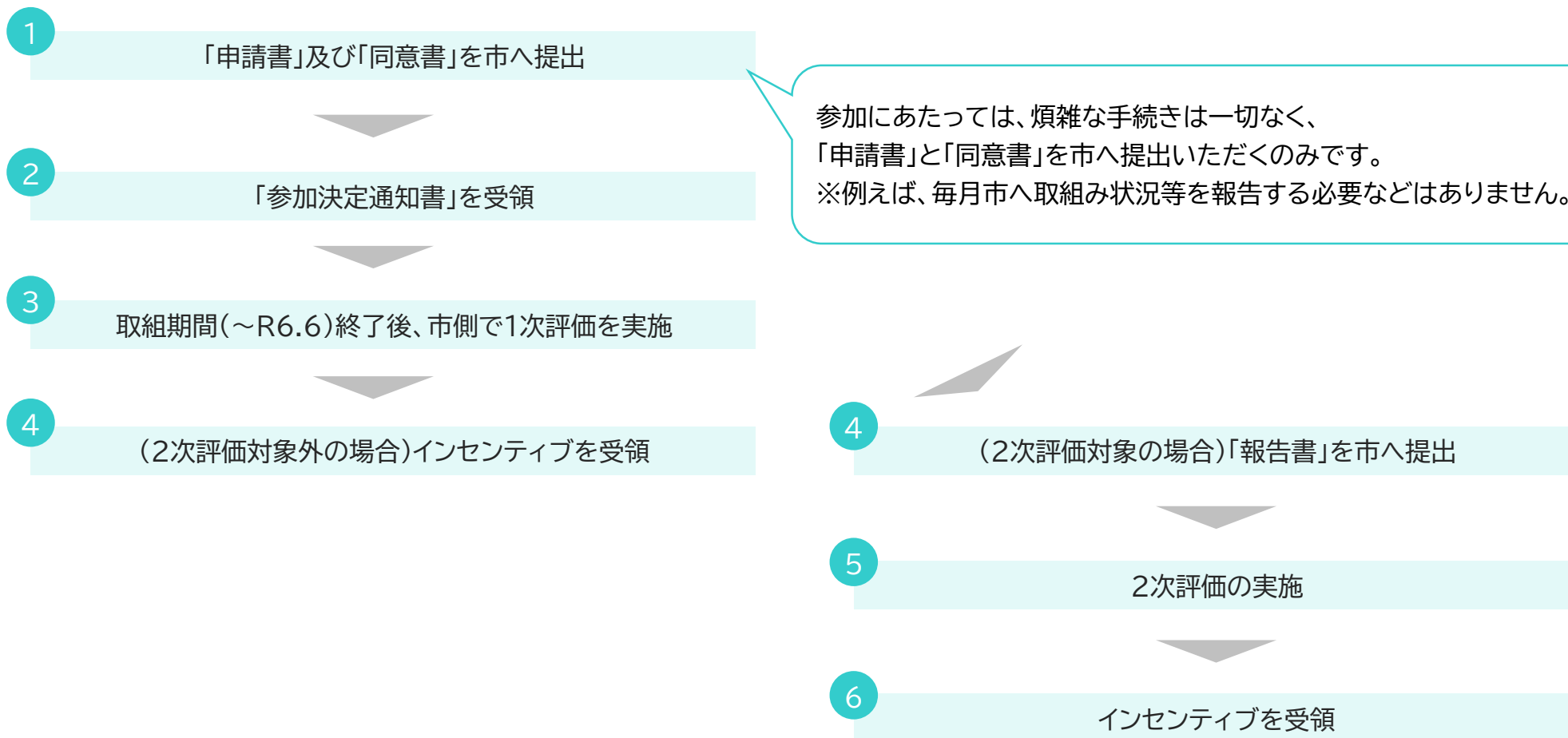
令和5年11月末日まで ※9月末日から11月末日まで期間を延長しました。

- 提出先(下記まで郵送いただくか、窓口まで提出をお願いいたします。)

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1

福岡市福祉局高齢社会部介護保険課重度化防止推進担当

- ✓ 代表となる介護事業所には、インセンティブの受領や手続きなど、市とチームとの窓口的な役割を担っていただきます。
- ✓ 代表となる介護事業所は、その他の介護事業所や利用者を含めチーム単位で、申請をお願いします。
 - 原則、チームを構成する全ての介護事業所の参加が必要です。同じチーム内に参加できない介護事業所がいる場合は、申請前に介護保険課(092-733-5452)までご連絡ください。
 - 他制度(医療保険等)を併用している場合、介護保険のサービスを提供している介護事業所のみ事業の対象となりますので、ご注意ください。
- ✓ 「小規模多機能型居宅介護」及び「看護型小規模多機能型居宅介護」については、他のサービスの給付管理を行っていない場合、単独で申請可能です。



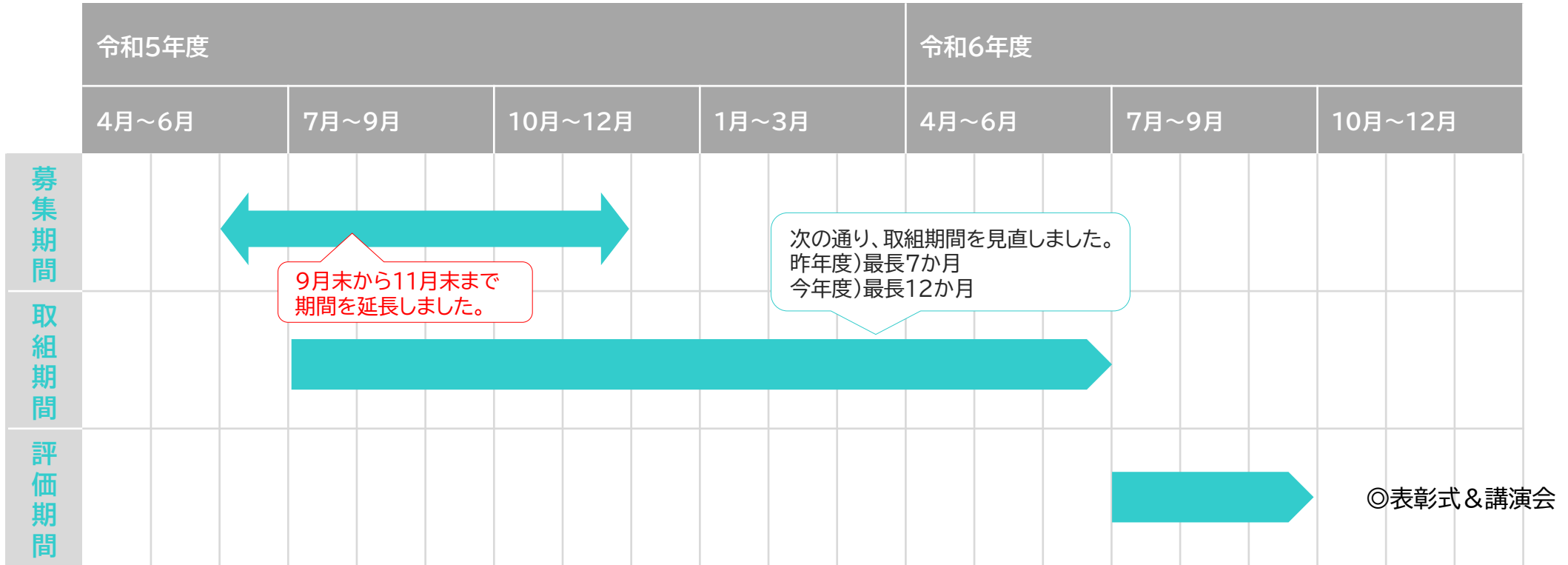
✓ 取組中において、申請内容に変更等があった場合は、「参加内容変更等申請書」の提出が必要です。

《変更等の事由について》

①介護事業所の変更・追加

②参加辞退

→ 参加辞退とは、利用者自ら参加の辞退を希望するほか、参加要件を満たさなくなった場合(利用者の死亡・転出、事業所の廃止等)をいいます。参加要件については、2Pをご参照ください。



- 募集受付は、6月から9月まで行います。
- 7月から翌年6月までを参加チームによる要介護状態の改善取組み期間としています。
- 特に優秀なチーム(金賞)は、式典での表彰を予定しています。
- 上記式典にあわせて、自立支援・重度化防止に関する講演会の開催を予定しています。

2 令和4年度の実施内容

- *参加状況・結果
- *表彰式・講演会、事例検討会
- *インセンティブ内容



- 令和4年6月から募集を行い、**37チーム、延べ125事業所**の皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございました。
- その参加チームの皆様において令和4年12月まで要介護状態の改善に向けて取組みを実施され、下表の結果となりました。

	評価の内容		チーム数
金 賞	要介護度の改善、または、要介護度の維持、かつADL等10ポイント以上の改善	特に優秀なチーム	3チーム
銀 賞		上記以外	2チーム
銅 賞	要介護度の維持、かつADL等0～9ポイントの改善等		4チーム
その他	上記以外		28チーム

要介護度やADL等の改善に至った取組内容について、評価委員会において特に優秀なチームを選定。

参加いただいた皆様の声を一部ご紹介します！！

<利用者様>

- 今回、事業所の勧めで参加しましたが、自身が目標にする姿へ色々な事業所の支えを受け前向きな気持ちで取り組み良かったです。

<事業所様>

- このような取り組みがあることで改めて利用者様のモチベーションの向上に向けた意識作りを構築することができました。
- サービス事業所が主体となって参加しております。対象者および家族を中心とし、リハビリについて、身体機能維持について考える機会となりました。

- アクロス福岡にて、特に優秀なチーム(金賞)の皆様の表彰式とタレントの西川ヘレン氏による講演会を開催！



<来場者の声(抜粋)>

— 表彰式 —

- 本人の意欲がどれくらい強いかで介護度がよくなるのだと感じた。
- こういうイベントがあると、本人・介護する方々にやりがい生まれると思った。

— その他 —

- ヘレンさんのご両親への尊敬の念を強く感じました。介護にはそうした思いが大切だなと思いました。
- ふくおか元気向上、取り組んである事を知りませんでした。良い取り組み感謝です。自分が利用させていただく時の参考になると思いました。
- 当初は講演目的でしたが、介護現場の成功事例と具体的内容を聞くことができ、現在両親の介護にあたる身として大変参考になった。

- 「利用者のQOLの確保」、「チーム連携」、「利用者やその家族とのコミュニケーション」の視点において、重度化防止に対する意識・意欲の向上や介護サービスの質の向上を図ることを目的に、参加事業所向けの事例検討会(多職種連携のための意見交換会)を開催！



<参加した事業所様の声(抜粋)>

- 基本的なことであるが、コミュニケーションが一番大切だと感じた。日頃からしっかりと他職員と会話することが円滑な情報交換にも繋がると思う。
- それぞれの職種で困りごとがあることを知り、改善が必要と思った。メールやzoomなどの新たなツールの活用を上手くできるようにならないといけないと思った。
- 他職種への感謝の気持ちがとても大切だと改めて感じた。

- 参加頂いた皆様が、引き続き重度化防止に取り組んでいただくよう、以下のインセンティブ(記念品等)をお渡ししました。

<利用者インセンティブのご紹介>



扇子(記念品)

扇子にお好きな文字(6文字まで)をいれて頂き、ご自身の好きなデザインを選んで頂きました。



マグカップ(記念品)

軽くて割れにくい素材を使用。側面には、事業マークを入れました。



表彰状

金賞の方には、表彰式のステージ上で表彰状をお渡ししました。

- 扇子は、金賞の利用者様に、マグカップと表彰状(参加の証)は、参加した皆様にお渡ししました。

<事業所インセンティブのご紹介>

事業所様の窓口等に貼って頂くためのステッカーを作成しました。また、希望する事業所様には認証マークをデータでお渡しし、名刺や自事業所のHP等に掲載するなど、活用頂いています。



認証

- 認証ステッカーは、金賞・銀賞・銅賞の介護事業所様に、表彰状は、金賞・銀賞の介護事業所様にお渡ししました。
- 金賞・銀賞・銅賞の介護事業所様の情報(電話番号や住所等)を、福岡市のホームページに掲載しました。
- その他、金賞の介護事業所様に報奨金(10万円)を交付しております。

※令和4年度の金賞チームの取組みを紹介する事例集については、令和5年8月頃までに冊子にまとめ、市内の介護事業所様等へ配布する予定としております。